



北辰☆

2026年6月3日

学校便り No.4

校長 森 慎也

佐賀市高木瀬西三丁目1番50号

学校教育目標 **夢の実現に向け、主体性をもって学び続ける生徒の育成**

■ 「チーム城北」の力を魅せました！

天候にも大変恵まれた5月30日（土）に、第62回体育大会を開催いたしました。早朝から多くの保護者様やご来賓の方にご参観いただきました。練習から本番まで、子どもたちが主体的に活動する場面が多々見られ、体育大会を通して一人一人が大きく成長し、そのことで、「城北中の力」がさらにパワーアップしました。全員が少しも手を抜くことなく、団のために精一杯走ったり、応援合戦では大声を出したり、踊ったりする姿に感動しました。「本気で取り組む」「全力で臨む」決して簡単なことではないことを、城北中学校の生徒は全員成し遂げました。自分を精一杯褒めてほしいし、自分に誇りをもってほしいと思います。また、全生徒が同じ方向に向かって進むことができる、城北中学校にも誇りをもって欲しいです。



団長による力強い宣誓

体育大会を成功に導いてくれた3年生！ありがとう！とてもかっこよかったです。そして、3年生の一生懸命な姿を見て、全力でついていき、支えてくれた1、2年生！見事でした！今後の学校生活、学校行事がますます楽しみになりました。



■ 校則の見直し（ポロシャツ着こなし編）

校則の見直しは、生徒、保護者様、教職員の合意形成の上で、毎年検討・見直しをする必要があります。早速、生徒会本部役員19名が中心となり、制服の着方（ポロシャツのシャツ出し）について協議を重ね、提案書を作成し、5月26日の昼休みに、本部役員代表4名の生徒（H.Hさん、E.Sさん、S.Nさん、G.Hさん）が、校長室の扉を叩いてくれました。とても緊張した面持ちでしたが、全校生徒がより快適で過ごしやすい学校生活を送るためにはどうすればよいかを考え、一人一人が堂々と提案してくれました。今回の見直しは、暑さ対策でしたので、体育大会終了後、一日でも早く快適に過ごせるようにと本部役員のみで検討をしましたが、今後は、学級、全校で校則について議論し、見直しができればと思います。

提案書

1. 目的。

現在、本校では制服の着用方法について細かな規則が定められている。しかし近年では、気温の変化や生徒一人一人の体調・価値観の違いに合わせて、より柔軟な対応が求められている。そこで、生徒が快適かつ健康的に学校生活を送れるよう、「シャツ出しの許可」について提案する。

2. 提案内容。

- 以下の条件付きで、半袖・長袖ポロシャツのシャツ出しを認める。
- ・式典（入学式、卒業式、始業式、終業式、修了式）時は従来通りシャツを入れる
 - ・清潔感のある着こなしを心がけ、過度な着崩しは禁止
 - ・先生から指導を受けた場合は改善する

3. 提案理由。

① 暑さ対策・快適性向上。

夏場はシャツを入れることで熱がこもりやすくなる場合がある。シャツ出しを認めることで、通気性が良くなり、熱中症対策や快適な学校生活につながる。

② 長袖の利点を活かせる。

長袖を着用する生徒の中には、日焼けを気にしている人も多い。長袖のシャツ出しを認めることで、紫外線対策をしながら快適に過ごすことができる。また、近年は気温差が大きく、朝晩で寒暖差がある日も多い。長袖は急な気温の変化にも対応しやすく、体調管理の面でも役立つ。

③ 生徒の自主性を尊重できる。

服装をすべて一律に決めるのではなく、生徒自身が気温や体調に合わせて適切な服装を判断することで、自主性や自己管理能力を育てることができる。

4. まとめ。

シャツ出しの許可は、単なる服装の自由ではなく、

- ・生徒の健康
- ・快適性
- ・自主性

を目的とした取り組みである。適切なルールを設けながら柔軟な運用を行うことで、生徒にとってより過ごしやすい学校生活を実現できると考える。

■ 心のオアシス

私は、華道については全く無知ですが、少なからずとも、花の美しさはそれなりに感じるができます。校長室の前には、本校の国語科の中島洋子先生が、毎週美しい生け花を飾ってくれており、私の心を癒してくれます。おそらく私だけではなく、教職員や来校者の方の心に水を与えています。ご来校の際には、校長室前までぜひお越しください。ひと時の幸せを味わうことができます。

